

# あすなる

北部地区農村環境改善センター

発行 青森市北部地区  
農村環境改善センター  
〒038-0054 青森市奥内字宮田 41-3  
TEL 017-754-2244  
FAX 017-754-2244

講座レポート

## 北部市民センターまつり盛大に開催！ (11/5)



会場の様子

お楽しみ抽選会には長蛇の列



4年ぶりの食堂は大賑わい



手作り小物、陶芸品を販売



作品展示の様子



力作が勢ぞろい！その素晴らしさに目を奪われます！



芸能発表の様子



熱演に会場から大きな拍手と声援が送られていました。



山上進氏との共演に拍手喝采！

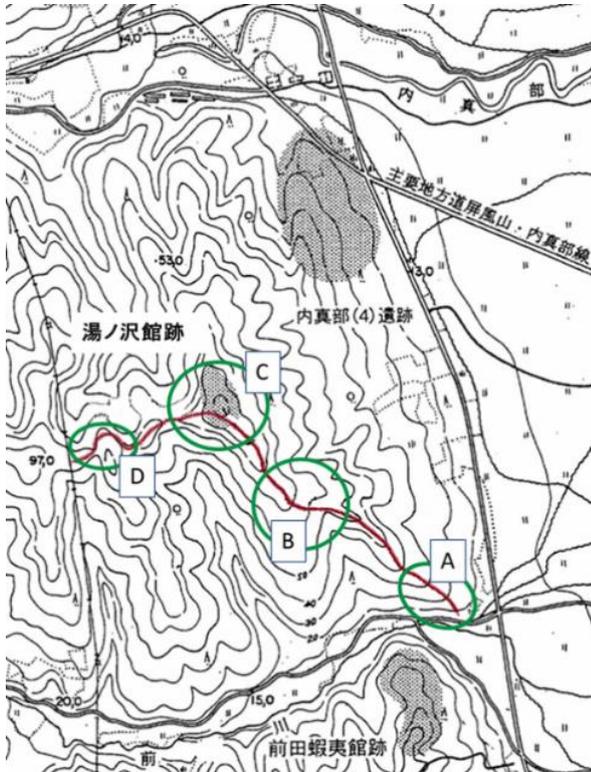
### 歴史と暮らし・新発見隊コーナー



「歴史と暮らし・新発見隊」のメンバーも18人に増え、地域の魅力発見に日々取り組んでいます。

11月5日(日)、さわやかな秋晴れの下、北部市民センターまつりが4年ぶりに盛大に開催されました。当日は、野菜、陶芸品・手作り小物等の販売、近隣幼稚園・保育園・児童館・小学校・中学校、各町会、北部市民センターで活動するサークル等の作品展示が行われ、どのコーナーも大盛況。  
午後1時から、恒例の芸能発表。最後を締めくくったのは、津軽三味線の名手、山上進氏。4年振りに聞くその素晴らしい三味線演奏と愉快なトークに会場は大盛り上がり。笑い声と大きな拍手が会場いっぱいに鳴り響いていました。

湯ノ沢館跡は、青森市奥内地区の湯ノ沢川と県道2号線（至金木）に挟まれた丘陵にあります。北側には、外浜安藤氏の居館である「内真部館跡」があります。その北方に内真部館から繋がる「大阪山館」がありますが、それよりも近くに位置します。



今回は24名の参加者が、晩秋の湯ノ沢館跡をA⇒B⇒C⇒Dの順に踏破しました。このうちAの深さ3mの堀道、Bの南曲輪の周壕は、研究者にもよく知られていない箇所だそうです。

講師は青森市生涯学習推進員の田中洋一さんです。アシスタントとして「くらしと歴史・新・発見隊」の村田・奥谷さんの両名が務めてくれました。田中さんは、「くらしと歴史・新・発見隊」の会員と一緒に、事前に湯ノ沢館跡を巡る道の刈り払いを、何度となく行ってきていたので、参加者は湯ノ沢館跡をスムーズに探訪することが出来ました。

＜城跡の基本用語＞

曲輪（くるわ）：城の内外を土塁、石垣、堀などで区画した区域の名称

周壕（しゅうぼり）：曲輪の周りの堀のこと。中世の城郭では空堀

堀道（ほりみち）：空堀のように、掘られている道



A: 講師を先頭に深さ3mの堀道を進む参加者



B: 一の陣地で説明を聞く参加者



C: 東曲輪で説明を聞く参加者



D: 二の陣地(斜面の上から敵を攻撃する)



講座参加者の記念撮影

編集後記

4年ぶりに開催された市民センターまつりでは、市民の皆様の芸能発表や作品展から、熱い思いがひしひしと感じられました。生涯学習活動に熱心に取り組んできた市民の皆様の意識の高さを感じます。今後も紙面をとおして様々な学習活動の様子を発信していきたいと思ひます。

＜取材・編集＞

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164（内線36）

北部市民センター担当：須藤、横内